

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸 7-1-5 TEL: 059-381-3513/FAX: 059-381-3514

東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 519 号室 TEL: 03-3508-7128/FAX: 03-3508-3428

○新ポストは予算委員会筆頭理事

代表選挙が国民の意向を反映する形で菅総理の続投で決着がついたことは本当によかったと思います。応援をいただいた党员やサポーター、地方議員の皆さんには、心から感謝します。中でも、三重県の私の選挙区から菅さんへの指示を日本一沢山いただいたことが分かり、感激しています。

私のポストも変わります。文部科学省でめだしをした多くのプロジェクトが順調に動き出しているだけに、ここでやめるのは残念ですが、新しい副大臣にしっかりと引継ぎをしています。

政権の最大の課題は、過半数が取れていない参議院で予算や関連法案を成立させるために、どのような国会運営をするかです。人事全体のウエイトが、政府から国会の乗り切りに移りました。そうした背景の中で、私の新しいポストは、衆議院の予算委員会の筆頭理事。一方、党での仕事は、新しく出来る外交・安全保障調査会の会長になりました。自民党や公明党などの野党と何とか話し合いの場を作り、参議院での多数決を実現することが第一。行き詰まれば解散です。外交・安保調査会も頑張ります。これまでアメリカの中で作られた世界観で生きてきた日本だけに、日本独自の戦略思考が存在しないのだと言われてきました。日米同盟やアジア共同体など原点に戻って再定義をしながら、外交・安保戦略を私たちの言葉で語ることが出来ればと思っています。

○人権国際会議で共同議長つとめる

8月にカナダのオタワで開かれた北朝鮮の人権問題の国際議連会議に中井拉致問題担当大臣と一緒に出席しました。韓国やアメリカを含む世界の視点は、金正日の軍事体制と一般の国民とは区別して考えるということです。「私たちが戦わなければならないのは、拉致はもちろん、韓国の離散家族、脱北者、そして北朝鮮国内の政治犯収容所や日常の弾圧などを通じてとんでもない人権抑圧をしている金正日体制だ。国民は実はその犠牲者であり、国民自らが悲惨な状況を解消するために北朝鮮の中で立ち上がることが出来る状況を作り出すことが周辺諸国で取るべき究極の政策だ。」ということを確認しました。

北朝鮮の金正日政権に対して、とんでもない人権侵害

の是正を求める国連の人権委員会や総会での決議が、今年も11月に予定されています。一般の非難決議に加えて、国連に特別調査委員会を設置して北朝鮮の非道を国内にも直接入って調査をすること、同時に、ハーグの国際刑事裁判所に金正日体制を告訴しようと言うことが今回の国際議連決議には、入っています。日本が率先して行動を起こすことが大切だと、参加各国の議員から励まされてきました。

翻って、文科省の課題の朝鮮人学校の子供たちへの授業料支援の問題。日本の朝鮮人学校は、金正日軍事体制を正当化する政治プロパガンダをしていると言われます。私も、そのことは強く批判されなければならないと思います。だから、この際、財務内容と教育の中身について学校自らが情報開示をすることを求めていくことが大切だと思います。資金が必ず子供たちの元に届いて使われていることが保証できるのか確認されることも大切な前提条件だと思います。朝鮮学校への補助金ではなく、子供たちへの支援金だと言うことが担保されなければなりません。そうした条件を、まず確認することができた時に、政府は、授業料支援を決断することになります。

○県会議員候補募集

統一地方選挙が迫ってきました。民主党の県連では、選挙に民主党の仲間として立候補したいと思う人の公募をしています。第一弾は、特に、県会議員候補を対象にした募集ですが、私は、市議会や市長、県知事まで広く名乗りを上げてくれればいいと思っています。すでに、何人かの応募が来ているのは嬉しいことです。

○三重県庁頑張れ！

先日、文科省の職員で三重県出身や三重県への出向経験者が私を困らでの放談会を開いてくれました。局長や博物館長など出世コースを歩いている人が多いのが特徴です。皆が口をそろえて言うには、「三重県で不愉快な思いをして東京に帰ってきた職員は一人としていない。気持ちのいい仕事が出来た。」ということです。「素直にとればいい職場だけど、もう一方で考えれば、県庁職員は皆、国(お上)に対して従順すぎるのではないか。」と投げかけてみました。出席者の顔を見ていると、当たっているのかもしれないという気にもなりました。頑張れ三重県！